

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年9月28日(2006.9.28)

【公表番号】特表2002-540133(P2002-540133A)

【公表日】平成14年11月26日(2002.11.26)

【出願番号】特願2000-607598(P2000-607598)

【国際特許分類】

A 61 K 8/00 (2006.01)

A 61 Q 5/02 (2006.01)

A 61 Q 5/12 (2006.01)

【F I】

A 61 K 7/075

A 61 K 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月11日(2006.8.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 (a) 陰イオン性界面活性剤および両性界面活性剤から成る群から選択される、5重量%から50重量%までの界面活性剤成分；
 (b) 0.05重量%から10重量%までの分散された不溶性非イオン性シリコーンヘアコンディショニング剤；
 (c) 0.05重量%から10重量%までの水溶性有機両性高分子ヘアコンディショニング剤；および
 (d) 水性担体

を包含することを特徴とするヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項2】 前記組成物が、陰イオン性および非イオン性界面活性剤を含む請求項1に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項3】 前記界面活性剤成分(a)が、5重量%から25重量%までの濃度で存在し、前記シリコーンヘアコンディショニング剤(b)が、0.1重量%から7重量%までの濃度で存在し、そして前記両性高分子コンディショニング剤(c)が、0.1重量%から4重量%までの濃度で存在し、全てが、水溶液(d)中にある請求項1に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項4】 前記両性高分子ヘアコンディショニング剤が、少なくとも1つのエチレンで不飽和化した陽イオン性モノマー、少なくとも1つのエチレンで不飽和化した酸含有モノマー、およびエチレンで不飽和化した非イオン性モノマーである0モル%から80モル%までのモノマーから構成され、そして、前記エチレンで不飽和化した酸含有モノマーが、カルボン酸およびスルホン酸から成る酸の群から選択される請求項1に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項5】 前記両性高分子ヘアコンディショニング剤が、
 (A) アルキルアクリルアミドプロピル-ジメチルアンモニウムハライド、アルキルメタクリルアミドプロピルジメチルアンモニウムハライド、アルキルアクリロイルオキシエチルジメチルアンモニウムハライド、アルキルメタクリロイルオキシエチルジメチルアンモニウムハライド、およびジアルキルジアリルアンモニウムハライドから成る群から選択される、1モル%から99モル%までの少なくとも1つのモノマー；

(B) アクリル酸(AA)、メタクリル酸(MAA)、2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸(AMPSA)、2-メタクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸(MAMPSA)、n-メタクリルアミドプロピル,n,n-ジメチルアミノ酢酸、n-アクリルアミドプロピル,n,n-ジメチルアミノ酢酸、n-メタクリロイルオキシエチル,n,n-ジメチルアミノ酢酸から成る群から選択される、1モル%から99モル%までの少なくとも1つのモノマー；および

(C) 粘度計によって測定される場合に100,000から10,000,000までの重量平均分子量を有する、C₁-C₂,直鎖または分岐鎖アルキルアクリレートまたはメタクリレート、C₁-C₂,直鎖または分岐鎖n-アルキルアクリルアミドまたはメタクリルアミド、アクリルアミドメチルアクリルアミド、n-ビニルピロリドン、ビニルアセテートまたはエトキシ化およびプロポキシ化アクリレートまたはメタクリレートから成る群から選択される、0モル%から80モル%までの少なくとも1つのモノマーから構成されることを特徴とする請求項4に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項6】 前記両性高分子ヘアコンディショニング剤中の(A):(B)のモル比が、25:75から75:25までの範囲にあり、そして、(C)が、1モル%から40モル%までの濃度で両性高分子に存在し、かつ、C₁-C₂,アクリル酸エステル、C₁-C₂,メタクリル酸エステル、アクリルアミド、およびC₁-C₂,n-アルキルアクリルアミドから成る群から選択される少なくとも1つのモノマーである請求項5に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項7】 前記C₁-C₂,アクリル酸エステルが、メチル、エチル、ブチル、オクチル、ラウリル、およびステアリルアクリル酸エステルから成る群から選択され、前記C₁-C₂,メタクリル酸エステルが、メチル、エチル、ブチル、オクチル、ラウリル、およびステアリルメタクリル酸エステルから成る群から選択され、そして、前記C₁-C₂,n-アルキルアクリルアミドが、n-メチル、n-エチル、n-ブチル、n-オクチル、t-オクチル、n-ラウリル、およびn-ステアリルアクリルアミドおよびメタクリルアミドから成る群から選択される請求項6に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項8】 (A)のモノマーが、MAPTAC、APTAC、AEETAC、METAC、METAMSおよびDMDAACから成る群から選択され、かつ(B)から得られるモノマーが、アクリル酸、メタクリル酸、およびAMPSAから成る群から選択され、そして、(A)から得られる少なくとも1つのモノマーが、25:75から75:25までの比(A):(B)で(B)から得られる少なくとも1つのモノマーに対するモル比で存在し、かつ、(C)から得られる少なくとも1つのモノマーが、1モル%から35モル%までの量で存在する請求項5に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項9】 さらに、前記シリコーンヘアコンディショニング剤のための懸濁剤と、そして、炭化水素油、10個から22個までの炭素原子を有する脂肪酸エステル、およびそれらの混合物から成る群から選択される0.05重量%から5重量%までの有機水不溶性液体とを包含する請求項1に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項10】 前記両性高分子ヘアコンディショニング剤が、20:1の水:シャンプー組成物の重量比で、水で成分(a)、(b)および(c)を希釈して複合体コアセルベート形態で存在する請求項1に記載のヘアコンディショニングシャンプー組成物。

【請求項11】 (a)が、15重量%の陰イオン性界面活性剤および1重量%から2重量%までの非イオン性界面活性剤を含有し、(b)が、0.5%から1.5%までのシリコーンを含有し、そして(c)が、0.2重量%から0.4重量%までの前記両性高分子ヘアコンディショニング剤を含有する請求項8に記載の組成物と毛髪を接触させることを含む毛髪を処置する方法。

【請求項12】 (a)の前記陰イオン性界面活性剤が、ラウリルスルフェート、ラウリルエーテルスルフェート、オレフィンスルホネート、およびそれらのアンモニウム、

ナトリウムおよびアミン塩から成る群から選択され、(a)の前記非イオン性界面活性剤が、脂肪酸ジまたはモノエタノールアミド、ポリエチレンまたはポリプロピレングリコールのモノまたはジ脂肪酸エステル、およびC₁ - C₈グリコールのモノまたはジ脂肪酸エステルから成る群から選択され；そして、(b)の前記シリコーンが、ジメチコン、シクロメチコン、トリメチルシリルアモジメチコン、フェニルトリメチコン、トリメチルシロキシリケート、ポリオルガノシロキサン、ポリアルキルシロキサン、ポリアリールシロキサン、ポリアルカリルシロキサン、およびポリエステルシロキサン共重合体から成る群から選択される請求項11に記載の組成物。